

平成 2 1 年度病害虫発生予報第 8 号

平成 2 1 年 1 1 月 4 日
愛 知 県

1 野菜

ハクサイでは、軟腐病の発生量は現在のところ平年並ですが、結球期頃から発病しやすくなります。降雨は発病を助長しますので、特に長雨や強風を伴う降雨が予想される場合には防除を徹底しましょう。

キャベツでは、気温の低下に伴い、菌核病の発生が心配されます。発病してからの農薬散布では防除効果が低いので、予防的に防除を実施しましょう。特に昨年発生が多かったほ場では、注意が必要です。

トマトでは、葉かび病、すすかび病の発生が見られるほ場があります。蔓延を防ぐため、早めの防除を心がけましょう。黄化葉巻病の発生量が例年に比べやや多い状況です。発病株は抜き取って適切に処分するとともに、黄化葉巻病を媒介するコナジラミ類が施設内で増殖しないよう、防除を徹底しましょう。

キュウリでは、うどんこ病の発生量がやや多い状況です。ほ場により発生に差が見られますので、発生状況に注意し、発生初期に防除するようにしましょう。また、ミナミキイロアザミウマの発生量がやや多くなっています。本虫はキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス(MYSV)を媒介しますので、防除するとともに、ウイルス症状の株は抜き取って適切に処分しましょう。

イチゴでは、うどんこ病の発生量が多い状況が続いています。ほ場での発生に注意し、発生初期に防除するようにしましょう。ハダニ類の発生量は、現在のところ平年並ですが、ここ数年やや多い状況が続いています。マルチ後はハダニ類が発生しやすい条件となりますので、発生初期に的確に防除しましょう。天敵を導入する施設では、導入後は使用できる農薬に限られますので、早めに防除しましょう。

果樹

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ウンシュウミカン	ミカンハダニ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量は少ない 11月の気温は高い	- +

野菜

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ハクサイ	軟腐病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	べと病	平年並	全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の降水量はやや多い	- +
	アブラムシ類	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	コナガ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	- -
キャベツ	黒腐病	平年並	全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の降水量はやや多い	- +
	菌核病	やや少ない	全域	10月下旬の発生量は少ない 昨年の発生量は平年並 11月の降水量はやや多い	- ± +
	コナガ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	± -
トマト (施設)	葉かび病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	黄化葉巻病	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
	コナジラミ類	やや多い	全域	10月下旬の発生量は平年並 黄色粘着トラップにおける誘殺数はやや多い	± +
	ハモグリバエ類	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
ナス (施設)	うどんこ病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロアザミウマ	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	うどんこ病	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
	べと病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロアザミウマ	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
イチゴ (施設)	うどんこ病	多い	全域	10月下旬の発生量は多い	+
	ハダニ類	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	- ±
	オオタバコガ	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±

・防除対策

〔トマト(施設)・トマト黄化葉巻病、コナジラミ類〕

発病株は直ちに抜き取って適切に処分しましょう。コナジラミ類はモスピラン水溶剤、ベストガード水溶剤、ハチハチ乳剤などで徹底的に防除しましょう。

〔キュウリうどんこ病〕

発生初期からベルコートフロアブル、ポリオキシソルボン水溶剤、ハーモメイト水溶剤などで防除しましょう。

〔キュウリ(施設)・ミナミキイロアザミウマ〕

アフーム乳剤、アドマイヤー顆粒水和剤などで防除しましょう。

〔イチゴうどんこ病〕

10月16日発表の「病害虫発生予察注意報第3号」を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報(名古屋地方気象台10月30日発表)

予想される向こう1か月の天候

東海地方では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並の確率50%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率

〔気温〕 低い : 10% 平年並 : 30% 高い : 60%

〔降水量〕 少ない : 20% 平年並 : 40% 多い : 40%

〔日照時間〕 少ない : 40% 平年並 : 40% 多い : 20%

予想される天候の特徴

当地方の向こう1か月は、気圧の谷や湿った空気の影響で、平年と比べ曇りや雨の日が多いでしょう。(10月31日~11月27日の晴れ日数の平年値は約17日)。

「農薬使用者のみなさんへ」

飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。

農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。

農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも、洗いもれがないようにしましょう。

農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。

農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。

農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。

ポジティブリスト制度・農薬ドリフト対策については、
<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/minor.html> をご覧ください。